

令和4年度

福岡都市圏広域行政事業組合

流域連携基金事業 実施レポート

交流推進

地域振興
支援

森林保全
支援

環境対策
支援

広報・
啓発

福岡都市圏水源ダム 朝倉市寺内ダム

福岡都市圏の水道水の約1/3は、
筑後川の水です。



流域連携基金キャラクター
「ちっこりん」

ご挨拶

福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

現在260万を超える人々が暮らしている福岡都市圏は、大きな川がないなど地理的に水資源に恵まれず、私達の生活に欠かせない水道水の約3分の1を筑後川から取水しています。

圏域の安定的な水道水の供給は、ひとえに、筑後川流域及び水源地域の住民の皆様のご理解とご協力によって保たれています。

このため、当事業組合では、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆様と交流・連携し、相互理解を深めることを目的に、「流域連携基金事業」を行っています。

福岡都市圏の住民の皆様には、これからも筑後川のめぐみへの感謝を忘れずに、水を大切に使うとともに、次世代を担う子どもや若い世代が今以上に水環境に関心を持って、森や川を守り育てる活動にチャレンジしてほしいと思います。

また、私たちはポストコロナに向けた時代の変革期を迎えています。持続可能で多様性のある社会の実現のためにも、美しい筑後川の水環境を次の世代へ残さなければなりません。

今後とも、筑後川流域及び水源地域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様方のご理解となお一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年3月



福岡都市圏広域行政事業組合

管理者 高島 宗一郎

目次

交流推進事業

かっぱリング事業	2P
筑後川のめぐみフェスティバル2022	5P
水の姉妹校形成促進事業	7P
あさくら体験学習支援事業	8P

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業	8P
合所ダム水源の森を守る森林セラピー	8P
“椿ヶ鼻”水源の森づくり	9P
水郷ひたの森づくり	9P
200海里の森づくり植樹交流会	9P
大山ダム水源地域上下流交流事業	10P

地域振興支援事業

筑後川・川の駅スタンプラリー2022	10P
--------------------	-----

環境対策支援事業

有明海クリーンアップ作戦	13P
筑後川河川美化「ノーポイ」運動	13P
参加事業（ひと山まるごとガーデニング、小石原川・佐田川ノーポイ運動）	13P
環境対策支援補助金交付団体	14P

広報・啓発・その他

福岡都市圏「水」キャンペーン2022	15P
ありがとう筑後川シール	17P
流域連携基金審議会	18P
流域連携基金条例・施行規則	18P
流域連携基金イメージソング「筑後川にて」	裏表紙
令和4年度流域連携基金事業実施場所	裏表紙

かっぱリング事業（筑紫地区）

大野城市・久留米市 子ども交流事業 ～かっぱリング2022～

○開催日／令和4年10月16日（日）

○実施場所／福岡地区水道企業団 海水淡水化センター「まみずピア」

○参加者／大野城市18名（スタッフ含む） 久留米市14名 合計32名（こども12名、大人20名）

大野城市を含む福岡都市圏では、使用する水道水の約3分の1を筑後川から頂いているため、筑後川流域にある久留米市の子どもたちと大野城市の子どもたちの交流事業を行いました。

海水淡水化センター「まみずピア」の施設見学をとおり、水の大切さを学び、交流を深めました。

担当者の声

大野城市上下水道局企業総務課
太田 涼子さん



子どもたちには少し説明が難しかったかもしれませんが、ビデオや施設見学の説明に聞き入る姿が印象的でした。

水の飲み比べができ、楽しみながら水について学べていたように思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、開催できない状況が続いていましたが、やっとイベントが開催でき、子どもたちに水の大切さを理解してもらったいい機会になりました。



参加者の声

<大野城市 A・Kさん>

なるべく水を無駄にしないようにお風呂の残りは、洗濯に使ったりして、将来水不足にならないよう心掛けたいと思います。

最後に実物大の（施設を）見れたり、真水などを飲めたりしたことが特に印象に残りました。

<久留米市 S・Kさん>

環境のことも考えて安心安全に暮らせるよう水を作っていると言っていたので、水を大切にしようと思いました。水を出しっぱなしにしないよう気をつけたいです。

「かっぱリング」とは？

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域（筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市）に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業（福岡都市圏筑後川流域交流推進事業）を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪（リング）を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カップリング」（2つのものの組合せ）を進めるという意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業（糟屋地区）

第25地区中学生地域交流サッカー大会（25th Liga de Animo）

○開催日／令和4年8月27日（土）・28日（日）

○実施場所／粕屋地区8会場（メイン会場：須恵町立須恵東中学校）

○参加者／21チーム 約400名（糟屋地区15チーム、筑後川流域17チーム）

日頃、交流の少ない筑後川流域と福岡都市圏の中学生サッカーチームが、「水」を通じた「かっぱリング事業」で交流を深め、青少年の技術向上と健全な心身の育成を図るため、糟屋地区8会場分かれて、交流サッカー大会リーグ戦を行いました。

開会式では、かっぱリング事業の趣旨を説明し、筑後川のめぐみを受けて育った、「福岡有明のり」を配布しました。

担当者の声

須恵町上下水道課

松崎 克秀さん

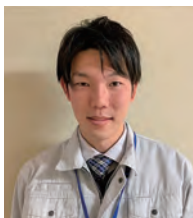
粕屋地区では、例年、中学生の地域交流サッカー大会を行っています。

今回の大会は晴天に恵まれ、子どもたちが一生懸命プレーをすることで会場也大盛り上がりでした。

開会式において、「福岡都市圏と筑後川の水の恵み」に関するチラシと筑後川の水で育まれた「福岡有明のり」を配布し、私たち福岡都市圏で日頃使っている水の3分の1が筑後川からの水であることを説明すると驚きの声が上がっていました。

この大会が、「水」の大切さに気付くきっかけになればと思います。また、筑後川の恵みに対する感謝の気持ちや他の地域の仲間たちとの交流を大切に今後も育まれていくことを期待します。

最後に、この大会の開催に際して、コロナ禍にも関わらずご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



参加者の声

<須恵町 須恵東中学校 S・Mさん>

僕は、今まで水を使うことはたくさんあったけれど、その水がどこから来るのか知るところか考えもしませんでした。しかし、本大会に参加することで、僕たちの住む須恵町は筑後川とつながっていて、使用している水の3分の1が筑後川から来ていることを知りました。これから水を使うときは無駄遣いをせず、感謝して使いたいと思いました。

サッカー大会では、普段対戦しないチームと試合をすることで、守備や攻撃など、様々な面でいい勉強になりました。これを活かして、さらに練習に励んでいきたいです。

本大会を開催していただきありがとうございました。おかげさまでいい経験となりました。ここで学んだことはサッカーだけでなく、日常生活にも活かしていきたいと思っています。

<久留米市 筑邦西中学校 T・Hさん>

普段、何気なく使っている水だったけれど、「かっぱリング事業」をとおして、水を大切にしていこうと深く思いました。水は無限にあるものではないので、節水など自分にできることから積極的に行っていこうと思いました。

また、大好きなサッカーで試合をしたことがないチームと交流ができたことをとてもうれしく思います。今回の大会で3位という結果でしたが、得たものは大きく、これからの練習で改善していきたいです。

この「かっぱリング事業」をとおして、水の大切さ、筑後川の水に助けられていることなどを学べたので、この取り組みを忘れず、これからもサッカーを全力で頑張っていこうと思いました。

かっぱリング事業（糸島市）

糸島市・日田市上津江町 森林保護交流会

○実施日／第1回 令和4年6月24日（金）／第2回 9月30日（金）

○実施場所／上津江フィッシングパーク（大分県日田市上津江町）

○参加者／第1回 日田市上津江町6名、糸島市5名 計11名

第2回 日田市上津江町6名、糸島市5名、関係職員2名 計13名

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、糸島市・日田市上津江町「もり」の交流会を中止し、令和4年6月24日（金）・9月30日（金）に森林保護交流会を行いました。

今年度は、森林保護交流会を2回開催し、令和4年6月24日（金）と9月30日（金）に日田市上津江振興局、福岡都市圏広域行政事業組合の職員とともに、過去に開催した「もり」の交流会で子どもたちと植樹したエリアを中心に草刈りを行いました。

今年度も、気温が高い中で事業実施となりましたが、感染対策と熱中症対策を十分に講じた結果、無事、年2回の保護交流を実施することができました。

作業前は雑草が生い茂っていましたが、作業によりとてもきれいになり、木の生育環境が改善しました。

担当者の声

糸島市上下水道部水道課

大賀 功二さん

日田市・糸島市の子どもたちとともに日田市上津江町で植樹を行って以降、毎年交流会を開催し、今年も無事に実施することができました。

本来は、日田市と糸島市の子どもたちの交流事業を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を踏まえ、中止とさせていただきます。

森林保護交流会は、日田市上津江振興局、福岡都市圏広域行政事業組合の職員とともに、感染対策を施しながら、第19回糸島市・日田市上津江町「もり」の交流会で子どもたちと植樹したエリアを中心に草刈りを行いました。

今回の事業を通して上津江と糸島の繋がりを断ち切ることなく地域間交流を図ることができ、有意義なものとなったと思います。最後に、参加者の皆様、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



参加者の声

＜糸島市水道課 河原 有佑さん＞

今年度は、糸島市・日田市上津江「もり」の交流会が開催される予定で準備等進めていた中で、中止となり非常に残念でした。しかしながら、森林保護交流会は開催でき大変良かったと感じています。

＜大分県日田市上津江振興局 綾垣 英二さん＞

今年度も新型コロナウイルスの影響で、進めていた「もり」の交流会が中止になり、非常に残念でしたが、森林保護交流会では、糸島市の職員の方や福岡都市圏広域行政事業組合の方たちと草刈り作業を実施でき、さわやかな汗をかいてとても気持ちのいいひと時を味わわせていただきました。

今後もこのような事業を通して、福岡都市圏の方々と水資源の大事さの相互理解を深めていければと思います。皆さんお疲れさまでした。



※宗像地区のかっぱリング事業については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

筑後川のめぐみフェスティバル2022

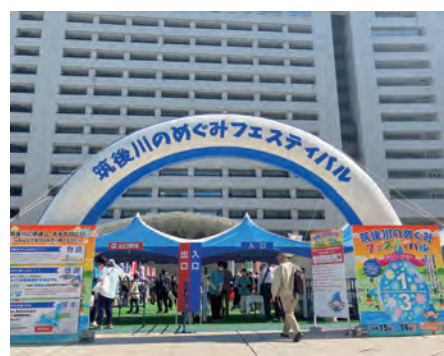
○実施日／令和4年10月15日（土）・16日（日）

○実施場所／福岡市役所西側ふれあい広場

○来場者数／8,698人（2日間合計）

福岡都市圏で使用される水道水の約3分の1を筑後川に頼っていることを福岡都市圏住民に周知し、筑後川のめぐみへの「感謝」の気持ちを醸成するとともに、筑後川流域市町村との相互理解を推進するため、フェスティバルを開催しました。

本フェスティバルでは、筑後川流域市町村の特産品販売や、伝統芸能を披露するステージイベントなどを行い、多くの来場客でにぎわいました。



1. オープニングセレモニー

<出席者>

- ・篠栗町 三浦町長（組合副管理者）
- ・春日市 井上市長（組合議会 議長）
- ・糸島市 月形市長
- ・福岡市 光山副市長
- ・福岡市水道局 坂本管理者
- ・福岡地区水道企業団 中村企業長
- ・流域市町村 観光大使等
（朝倉市、東峰村、日田市、佐賀市、柳川市、みやき町）
- ・流域市町村マスコットキャラクター
（朝倉市、東峰村、うきは市、小郡市、神崎市、大刀洗町、吉野ヶ里町）



2. 筑後川流域交流物産展

筑後川流域市町村からは18市町村、48事業者が出展しました。
筑後川流域及び水源地域の魅力あふれる特産品が並び、来場客で賑わいました



朝倉市



東峰村



柳川市



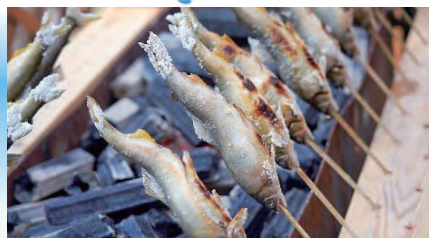
うきは市



久留米市



大川市



日田市



広川町



吉野ヶ里町

3. 水の啓発コーナー

「水の啓発コーナー」は、①水道水、②ミネラルウォーター、③海水淡水化水を当てる「利き水コーナー」、ダム模型展示コーナー、筑後川本格改修100周年及び、福岡市水道100周年記念展示などが出展し、普段、何気なく使っている「水」のありがたさや、水道水の安全性、治水・利水に関する取り組みなどの広報啓発が行われました。



利き水の様子



ダム模型展示



筑後川の治水に関する展示

4. 観光 PR ステージ・物産品抽選会

筑後川流域市町村のうち、15市町村がステージ上で観光PRを行い、場内で物産品を購入した来場者に賞品があたる抽選会を行いました。



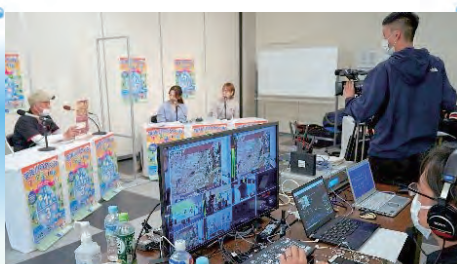
5. ステージパフォーマンス

筑後川流域市町村の伝統芸能舞台や、加藤淳也さんが歌う流域連携基金テーマソング「筑後川にて」、話題沸騰中の若手アーティストによるステージパフォーマンスなどが行われました。



6. YouTube 生配信

会場に来られない方などたくさんの方がイベントを楽しめるよう、YouTube生配信にて、出展ブースの紹介や、ステージイベントの生中継、筑後川と福岡都市圏の水事情などの情報発信を行いました。



水の姉妹校形成促進事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する学習・交流を行いながら「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

令和4年度より、福岡市西区能古島にある福岡市立能古小学校と、福岡都市圏共通の水源ダムがある、日田市立大山小学校が新たな水の姉妹校として、交流を開始しました。

福岡市立北崎小学校 — 朝倉市立秋月小学校

○実施日／令和4年7月28日（木）、11月25日（金）

○実施場所／北崎小学校 他（5年生）、秋月小学校 他（6年生）、小石原川ダム 他（4年生）

○参加生徒数／北崎小 4年生16名、5年生17名、6年生16名 合計49名

秋月小 4年生15名、5年生18名、6年生19名 合計52名

7月28日、5年生は、北崎小学校及び周辺で交流し、魚釣り体験やスキューバ体験などを行い、海の文化を中心に親睦を深めることができました。



7月28日、6年生は、秋月小学校及びその周辺で手すき和紙の作成など山里の水の文化を通じて交流し、親睦を深めました。



11月25日、4年生は、小石原川ダム見学や、小石原焼きの体験学習などを通じて親睦を深めることができました。



福岡市立能古小学校 — 日田市立大山小学校

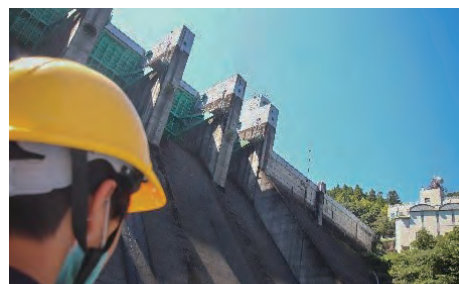
○実施日／令和4年9月30日（金）、10月21日（金）

○実施場所／日田市立大山小学校（日田市大山町）、松原ダム（同市天ヶ瀬町）

福岡市立能古小学校（福岡市西区能古島）、のこのしまアイランドパーク（〃）

○参加生徒数／能古小 18名、大山小 14名

9月30日、能古小学校の生徒が日田市へ訪れ、同市天ヶ瀬町にある松原ダムの見学や、大山町の特産品が入ったお弁当を食べるなどして交流し、美しい水を育む水源地域を感じながら、親睦を深めました。



10月21日、大山小学校の生徒が能古島を訪れ、能古小学校にて合流し、約1ヶ月ぶりに会う生徒たちが、のこのしまアイランドパークで絵付け体験や公園散策などを行いました。



あさくら体験学習支援事業

福岡都市圏の中学校が、筑後川流域・水源地域の朝倉地域（朝倉市・筑前町・東峰村）で各種体験活動を実施する際の経費の一部を助成することで、福岡都市圏の水道水の約3分の1を担う、筑後川流域への理解促進と感謝の気持ちの醸成につなげています。

古賀市立古賀中学校

○実施日／令和4年9月6日（火）～8日（木）

○実施場所／朝倉市・筑前町・柳川市・荒尾市

○参加生徒数／265名

古賀市立古賀中学校の2年生が、修学旅行として朝倉地域、筑後地域などを訪れ、平和学習や文化・農業体験、水害ボランティア体験などを行いました。

修学旅行参加にあたり、筑後川の水の恩恵や小石原川ダムの役割などの事前学習を行いました。

プログラムの最後には、三井グリーンランドでの自由時間があり、充実した楽しい修学旅行となりました。



水源林整備促進支援事業

○実施場所／日田市・うきは市

都市圏の水源ダムである大山ダム（日田市）、合所ダム（うきは市）の地元自治体と共同で、ダム集水区域内の水源林保全を行いました。日田市、うきは市と共に間伐等を行いました。

事業実績

・うきは市	間伐等	42.72ha
・日田市	間伐・再造林等	29.66ha
	路網整備	1,120m



合所ダム（うきは市）



大山ダム（日田市）

合所ダム水源の森を守る森林セラピー

○主催／合所ダム水源の森を守る森林セラピー実行委員会

○実施日／令和4年9月3日（土）

○実施場所／福岡県うきは市：つづら棚田森林セラピーロード、馬場キャンプサイト 他

○参加生徒数／26名（公募の上、応募者223名の中から抽選にて当選した参加者）

都市圏の水源ダム「合所ダム」があるうきは市において、都市圏住民に、筑後川の恩恵や水源地の自然環境を守る大切さを学んでもらい、うきは市の豊かな魅力を感じていただくことを目的に、初めての試みとして「合所ダム水源の森を守る森林セラピー」を実施しました。

本事業では、合所ダム水源地にあり、日本棚田百景に選ばれた「つづら棚田」をめぐる森林セラピー体験、水源林の保全活動（ウッドチップ敷き）、耳納連山の豊かな自然を満喫するグランピング（バーベキュー、川遊び等）などを行いました。



“椿ヶ鼻”水源の森づくり

都市圏の水源ダム「大山ダム」がある日田市にて、福岡都市圏と日田市の高校生や大学生等の若者が、「大山ダム」の見学やダム水源林の保全活動の一環として、枝打ち作業を行いました。

参加した学生たちは、枝打ち作業後、各種林業体験や昼食のバーベキューなどを通して、親睦を深めました。

○主 催／“椿ヶ鼻”水源の森づくり実行委員会

○実 施 日／令和4年9月17日（土）

○実施場所／日田市（前津江町・大山町）

○参加者数／福岡都市圏（高校生・大学生等）11名、日田市（高校生）11名、引率教諭 各1名 合計24名



水郷ひたの森づくり

都市圏の水源ダム「大山ダム」がある日田市が主催する「市民参加の森づくり」に福岡都市圏住民が参加し、地元の方々と一緒に筑後川への感謝を込めて、センダン・ケンボナシ・キハダなど3種類の苗木を植樹しました。

植樹後、天領時代の古い町並みが残る豆田町を散策しました。

○主 催／日田市

○実 施 日／令和4年11月5日（土）

○実施場所／日田市：萩尾公園（植樹会場）、豆田町（散策）

○参加者数／64名（公募の上、応募者153名の中から抽選にて当選した参加者）



200海里の森づくり 植樹交流会

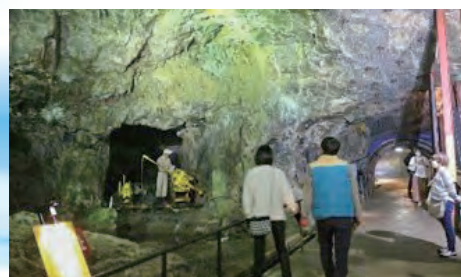
都市圏の水源ダム「大山ダム」の水源地域である日田市中津江村にて行われた「200 海里の森づくり植樹交流会」に、福岡都市圏から宇美町、篠栗町の住民が参加しました。参加者は、筑後川に注ぐ水を育む水源林を守り育てるため、地元の方々と一緒に、サクラ・モミジの苗木を植樹し、森を守り育てることの大切さを学ぶことができました。植樹後、かつて東洋一の金山といわれた「鯛生金山」を見学・散策しました。

○主 催／200 海里の森づくり実行委員会

○実 施 日／令和4年11月12日（土）

○実施場所／日田市中津江村：鯛生スポーツセンター（植樹会場）、鯛生金山（散策）

○参加者数／篠栗町17名、宇美町24名 合計41名



大山ダム水源地域上下流交流事業 シイタケ駒打ち体験交流会

都市圏の水源ダム「大山ダム」がある日田市大山町にて行われた「大山ダム水源地域上下流交流事業 シイタケ駒打ち体験交流会」に、福岡都市圏から太宰府市の住民が参加しました。

参加者はダムの見学後、田来原美しい森づくり公園にて、地元住民と一緒に水源林保全で生じた間伐材でのシイタケ駒打ちを体験しました。体験後、毎年開催される「日田おおやま梅まつり」会場で町中に咲き乱れる梅の香りを感じながら、春の訪れを満喫しました。

○主 催／大山ダム水源地域上下流交流事業 実行委員会

○実 施 日／令和5年2月25日（土）

○実施場所／日田市大山町：大山ダム、田来原美しい森づくり公園 他

○参加者数／太宰府市26名



筑後川・川の駅スタンプラリー2022

○実施期間／令和4年7月15日（金）～11月25日（金）

○実施場所／筑後川流域に点在する「川の駅（※）」（福岡県・佐賀県・大分県・熊本県）

※川の近くにあるか川の活動に関係した施設で、来訪者にトイレや休憩場所、地域の情報を提供し、人と人の出会いを促進する空間。

福岡都市圏在住者を対象に、圏域で使用される水道水の約3分の1を担う筑後川流域への理解を促進し、感謝の気持ちを醸成するとともに、その魅力を伝えることを目的に、筑後川流域に足を運びきっかけとして「筑後川・川の駅スタンプラリー」を実施しました。

(1) 事業概要

筑後川流域に40カ所ある川の駅に設置されているスタンプを5個以上（※）集め、応募した方の中から抽選で100名に「筑後川ブランド大会」に出品された賞品を贈呈。

※スタンプ5個につき1口とし、1人当たり最大3口（スタンプ15個分）まで応募可能。

(2) 当選賞品



※賞品は掲載のものと多少異なる場合がありますのでご了承ください。※賞品の発送をもって当選の発表に換えさせていただきます。

※スタンプラリー用紙抜粋

森林保全支援事業

地域振興支援事業

(3) 実施の様子



日田市「薫長（クンチョウ酒蔵）」



久留米市「道の駅くるめ」



朝倉市
「道の駅 三連水車の里あさくら」



スタンプデザイン
(例：道の駅うきは)

(4) スタンプラリー用紙

【表面・裏面】





(5) 実施結果

①応募・訪問状況(男女別・合計)

	応募人数	応募口数	訪問力所数
男性	162人	317口	1,659力所
女性	244人	458口	2,420力所
未記入			
合計	406人	775口	4,079力所
昨年度比	+78人	+189口	+1,014力所

②出身地域ごとの状況

地域	応募人数	訪問力所数
福岡市	178人	1,781力所
筑紫地域	124人	1,410力所
糟屋地域	65人	549力所
宗像地域	26人	221力所
糸島市	13人	118力所
合計	406人	4,079力所

④川の駅・市町村ごとの状況

川の駅	市町村	訪問人数	川の駅	市町村	訪問人数
①長者原ビクターセンター	九重	45人	②道の駅 うきは	うきは	258人
②九重夢大吊橋	九重	46人	③道の駅 原鶴	朝倉	292人
③九重ふるさと館	九重	61人	④三連水車の里	朝倉	278人
④道の駅 童話の里	玖珠	67人	⑤水の文化村	朝倉	118人
⑤道の駅 慈恩の滝	玖珠	55人	⑥ほととぎす館	朝倉	153人
⑥天の国プラザ	日田	37人	⑦道の駅 筑前みなみの里	筑前	210人
⑦夫婦滝おみやげ屋	南小国	37人	⑧土蔵	うきは	160人
⑧きよらカアサ	南小国	66人	⑨にじの耳納の里	うきは	212人
⑨道の駅 小国	小国	72人	⑩しばかり	久留米	119人
⑩サービスエリア風車	小国	54人	⑪道の駅 くるめ	久留米	166人
⑪しもうけ館	日田	16人	⑫くるめウス	久留米	132人
⑫まつばら館	日田	37人	⑬清力美術館	大川	77人
⑬おすわけレストラン	日田	27人	⑭テラツア	大川	144人
⑭水辺の郷おおよま	日田	94人	⑮三川屋	大川	64人
⑮薫長酒造	日田	72人	⑯ドランパ	佐賀	154人
⑯亀山亭ホテル	日田	61人	⑰道の駅 おおき	大木	146人
⑰山乃そば茶屋	日田	1人	⑱大東エンタープライズ	柳川	85人
⑱道の駅 鯛生金山	日田	29人	⑳柳川よかもん館	柳川	97人
㉑つづみの里	東峰	86人	㉒恐ぼたる	筑後	125人
㉓道の駅 小石原	東峰	86人	㉔八女人形会館	八女	37人
不明	不明	3人	合計(延べ)		4,079人

③年齢ごとの状況

	応募人数	訪問力所数	
～6歳	56人	582力所	自動車の運転不可 244人 60.1%
～12歳	178人	1,796力所	
～15歳	7人	81力所	
～18歳	3人	43力所	
～30歳	10人	111力所	1人平均の訪問力所 10.0力所
～50歳	96人	947力所	
51歳～	56人	519力所	
未記入			
合計	406人	4,079力所	

所在市町村	訪問人数
九重	152人
玖珠	122人
日田	374人
南小国	103人
小国	126人
東峰	172人
うきは	630人
朝倉	841人
筑前	210人
久留米	417人
大川	285人
佐賀	154人
大木	146人
柳川	182人
筑後	125人
八女	37人
不明	3人
合計	4,079人

有明海クリーンアップ作戦

有明海を美しい海に戻そうと、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県の有明沿岸四県がひとつになって実施している「有明海クリーンアップ作戦」に、福岡都市圏市町等の職員が参加し、筑後川下流域の柳川市久間田漁港で地元の漁協関係者や、国、県、市の関係団体の方々と一緒に早朝より清掃活動を行いました。

○実施日／令和4年8月19日（金）

○場所／福岡県柳川市 久間田漁港（有明海沿岸）

○参加者／福岡都市圏市町等の職員 27名



筑後川河川美化「ノーポイ」運動

河川美化、愛護運動の一環として、筑後川流域自治体と国土交通省が一体となって推進している筑後川河川美化「ノーポイ」運動に、福岡都市圏市町等の職員が参加し、早朝より清掃活動を行いました。

○実施日／令和4年10月30日（日）

○場所／福岡県久留米市 筑後川河川敷

○参加者／福岡都市圏市町等の職員 23名



ひと山まるごとガーデニング

筑後川水源地域・下流域の住民、利水者である福岡都市圏関係者で、大山ダム水源林の下草刈りを行う「ひと山まるごとガーデニング」に福岡都市圏広域行政事業組合の職員が参加しました。

○実施日／令和4年9月24日（土）

○場所／大分県日田市大山町：大山ダム水源林



小石原川・佐田川ノーポイ運動

朝倉市にあり、都市圏の水源地である「寺内ダム」周辺の清掃活動に福岡都市圏広域行政事業組合の職員が参加しました。

○実施日／令和4年11月24日（木）

○場所／福岡県朝倉市：寺内ダム周辺



環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域（有明海を含む）において、環境保全活動を行う非営利活動団体（18 団体）に対して、環境支援対策補助金として、活動費の助成を行いました。

地 域		協議自治体等	補助金交付団体	活動名
福岡都市圏		福岡都市圏市町	福岡市水源林ボランティアの会	大山ダム水源林での下草刈り、枝打ちなどの水源林の保全活動
			特定非営利活動法人 はかた夢松原の会	学生を対象に行う環境体験学習活動 環境保全をテーマとした都市圏・筑後川流域の住民交流イベントの実施
			日本経済大学経営学部（長濱ゼミ）	田主丸財産区有林における森林教室、フィールドワーク 県立三池工業高校での森林環境教育講演会など
筑後川流域		筑後川河川事務所	筑後川まるごと博物館運営委員会	高良川子ども自然と環境体験活動講座（全5回）
			エコアクト筑後川	筑後川エコアクトプログラム 2022「森と川とくらしのつながりを知ろう」 ※「河川・水源林」環境学習会（全8回）
			特定非営利活動法人 筑後川流域連携倶楽部	森林体験ツアーと木育ワークショップ ※東峰村での木育体験ツアーなど
有明海		佐賀県	特定非営利活動法人 有明海ぐるりんネット	有明海の恵みの源「筑後川」の役割を学習 ※カキ礁復活作業（竹立て）、シンポジウム
水源地域	寺内ダム・江川ダム	朝倉市	安川地区 小石原川を美しくする会	小石原川及び野鳥川の除草・清掃活動
			甘木町「小石原川を守る会」	小石原川の高水敷の芝刈り・除草活動
			グリーンウェイブ 朝倉水源の森実行委員会	朝倉の未来につなぐ環境フォーラム ※県立朝倉東高校文化祭の一部として実施
			堀川の環境を守る会	第15回堀川クリーンアップ活動 ※堀川周辺草刈及び清掃活動
			下戸河内ダム対策協議会	水をつなぐ流域交流会 in 下戸河内 ※上下流住民による植樹活動など
	合所ダム	うきは市	うきは市林業研究グループ	うきはの森と親しむ日 ※植林・木工・シイタケ菌打ち体験など
			つづら棚田を守る会	棚田の保全活動 ※合所ダム上流の棚田での田植えや収穫祭（お月見）などの交流活動
			うきは市「都市と山村交流」プロジェクト協議会	棚田の保全活動を通じた都市住民との交流事業 ※筑後川上流の棚田耕作による水源地保全
			うきは市癒しの旅先案内人協会	森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動と森林保全活動
			新川・田筆地域協議会	合所ダム上流の棚田・河川の清掃活動 遊休地を活用したキャンプサイトでの交流
	大山ダム	日田市	木林乃森を守るネットワーク	子どもなどを対象にした日田市上津江町での特殊伐採見学などを実施

活動の様子



日本経済大学経営学部（長濱ゼミ）



堀川の環境を守る会



うきは市癒しの旅先案内人協会



筑後川まるごと博物館運営委員会

福岡都市圏「水」キャンペーン2022

福岡都市圏では、毎年、国が定める水の週間（8月1日からの1週間）において、都市圏住民を対象に、都市圏の水事情の周知や筑後川の水の恩恵への感謝等を啓発するため、都市圏合同で、筑後川のめぐみや水の大切さなどに関する啓発キャンペーンを行いました。

○実施期間 令和4年8月1日（月）～7日（日）

(1) 街頭キャンペーン等

① 都市圏市町・関係団体 実施状況

構成団体名		実施日	場所・実施方法
福岡市、国土交通省九州地方整備局、福岡県、(独)水資源機構筑後川局、福岡地区水道企業団・福岡市水道サービス公社		8月1日	JR博多駅筑紫口ビジョンに啓発広告を掲載。 JR博多駅前広場にて街頭キャンペーンを実施。
筑紫地区	筑紫野市 (山神水道企業団と共催)	8月1日～	市役所庁舎内及びコミュニティセンターでの啓発チラシセット配布
	春日市 (春日那珂川水道企業団)	8月1日	西鉄春日原駅、JR春日駅にて街頭キャンペーンを実施。市長、副市長、職員、春日那珂川水道企業団職員が参加。
	大野城市	①8月1日～ ②8月1日～7日	①大野城市役所庁舎（上下水道課窓口）にて啓発チラシセットを配布。 ②大野城心のふるさと館にて啓発チラシセットを配布。
	太宰府市	①8月1日～ ②8月2日～4日	①ルミエール太宰府店、西鉄都府楼前駅にて街頭キャンペーンを実施。 市長及び市職員が参加。 ②太宰府市役所窓口にて啓発チラシセットを配布。
	那珂川市	8月1日～5日	那珂川市役所窓口にて啓発チラシセットを設置。
	山神水道企業団 (筑紫野市と共催)	8月2日～	筑紫野市役所、筑紫野市商工会事務所の窓口にて啓発チラシセットを配布。
	春日那珂川水道企業団 (春日市と共催)	8月1日	西鉄春日原駅、JR春日駅にて街頭キャンペーンを実施。 副企業長（＝春日市長）、企業団職員が参加。
糟屋地区	古賀市	8月1日～5日	古賀市役所庁舎内での啓発チラシセット配布・設置。
	宇美町	8月1日～7日	上下水道課窓口、町関係施設窓口・お知らせコーナー等にて啓発チラシセットを配布。
	篠栗町	8月1日	庁舎内玄関・上下水道課窓口にて啓発チラシセットを配布。
	志免町	8月1日～	志免町役場上下水道課窓口・住民課窓口（転入者用）で啓発チラシセットを配布。
	須恵町	8月1日～7日	須恵町役場庁舎内窓口、公共施設にて啓発チラシセットを配布。
	新宮町	8月1日	JR新宮中央駅（中庭・二階）にて、街頭キャンペーンを実施。町長、副町長、町職員が参加。
	久山町	8月1日～	久山町役場庁舎内（窓口）にて啓発チラシセットを配布。
	粕屋町	8月1日～8月5日	粕屋町役場1階ロビー道路環境整備課・上下水道課窓口にて啓発チラシセットを配布。 役場横の健康センターで各健診を受診した方に啓発チラシセットを配布。
宗像地区	宗像地区事務組合 (宗像市)	8月4日	JR赤間駅にて街頭キャンペーンを実施。副組合長（＝宗像市長）、事務組合局長、組合職員が参加。
	宗像地区事務組合 (福津市)	8月4日	JR福間駅にて街頭キャンペーンを実施。組合長（＝福津市長）、事務組合局長、組合職員が参加。
糸島市		8月1日	JR筑前前原駅・波多江駅・糸島高校前駅、イオン志摩店にて街頭キャンペーンを実施。市長、副市長、市職員が参加。

② 実施の様子

福岡市

(街頭キャンペーン：JR博多駅前広場)



筑紫野市・山神水道企業団
(市庁舎及び関係施設窓口にて実施)



春日市・春日那珂川水道企業団
(街頭キャンペーン：西鉄春日原駅・JR 春日駅)



大野城市
(市庁舎及び関係施設窓口にて実施)



太宰府市
(街頭キャンペーン：ルミエール太宰府店・西鉄都府楼前駅)



那珂川市
(市庁舎及び関係施設窓口にて実施)



古賀市
(市庁舎窓口にて実施)



宇美町
(町役場及び関係施設窓口にて実施)



篠栗町
(町役場及び関係施設窓口にて実施)



志免町
(町役場及び関係施設窓口にて実施)



須恵町
(町役場及び関係施設窓口にて実施)



新宮町
(街頭キャンペーン：JR 新宮中央駅)



久山町
(町役場及び関係施設窓口にて実施)



粕屋町
(町役場及び関係施設窓口にて実施)



宗像市・宗像地区事務組合
(街頭キャンペーン：JR 赤間駅)



福津市・宗像地区事務組合
(街頭キャンペーン：JR 福岡駅)



糸島市
(街頭キャンペーン：JR 筑前原駅・波多江駅・糸島高校前駅・イオン志摩店)



(2) デジタルサイネージ

○放映期間／令和4年7月25日(月)～31日(金)

○放映場所／福岡市各区役所
(南区・早良区を除く)
JR 博多駅 筑紫口ビジョン
(新幹線改札前大型ビジョン)



放映の様子 (JR 博多駅筑紫口ビジョン)

(3) 広報誌・マスコミ

- ①福岡都市圏17市町の広報誌・ホームページ・SNSへの記事掲載
- ②RKB 毎日放送「タダイマ」…8月1日(月)放送分
- ③NHK 福岡放送局「ロクいち!福岡」…8月1日(月)放送分

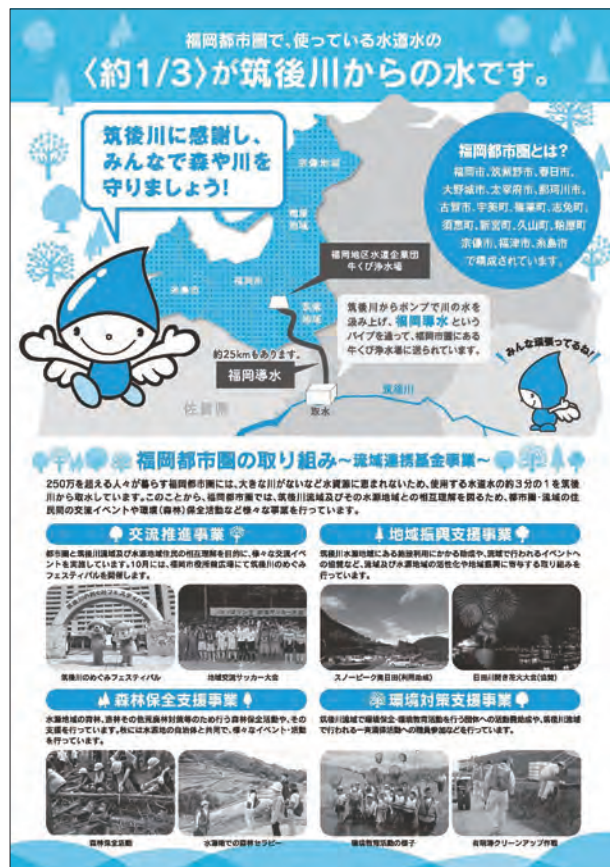
(4) インフルエンサーによる SNS での広報

Instagram (インスタグラム) のフォロワー合計約8万人への情報発信

(5) 啓発チラシデザイン



【表面】



【裏面】

ありがとう筑後川シール

福岡都市圏における「筑後川のめぐみ」を広く啓発するため、今年度新たに、啓発シールを作成し、都市圏市町の公立小中学校や公共施設の手洗い場等に貼付しました。

(1) シールデザイン



(2) 貼付箇所数・枚数

小学校……………	7,171 枚
中学校……………	3,111 枚
高校（市立）………	160 枚
公共施設……………	9,662 枚
その他（公園等）…	786 枚
合計……………	20,890 枚

(3) 貼付の様子



福岡市役所本庁舎トイレ



福岡市地下鉄 中洲川端駅



宇美町立宇美南小学校

流域連携基金審議会

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るために審議会を設置しています。

令和4年度審議会開催状況

第1回	令和4年6月20日	議題 報告	令和4年度環境対策支援補助金(案)について 令和3年度水源林整備促進事業の実施状況について
第2回	令和4年12月27日	議題 報告	令和5年度流域連携基金事業(案)について 令和4年度流域連携基金事業の実施状況について

審議会委員

区 分	氏 名	所属・役職	任 期
会 長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	令和2年9月1日から 令和4年8月31日まで
副会長	相模 裕一	西南学院大学 経済学部 教授	
委 員	笠原 玉青	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委 員	臼杵 昭子	公益財団法人 那珂川市教育文化振興財団「ミリカローデン那珂川」館長	
委 員	平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事	

区 分	氏 名	所属・役職	任 期
会 長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	令和4年12月1日から 令和6年11月30日まで
副会長	平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事	
委 員	近藤 春生	西南学院大学 経済学部 教授	
委 員	水野 秀明	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委 員	中村 昌子	株式会社 西日本新聞社 人事部次長	

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成 16 年 11 月 8 日 条例第 3 号

- (設置) 第1条 福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行って連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
- (積立て) 第2条 基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
- (管理) 第3条 基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
- (運用益金の処理)
- 第4条 基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。
- 2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
- (繰替運用)
- 第5条 管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
- (処分) 第6条 管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
- (委任) 第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
- 附 則 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成 17 年 3 月 22 日 規則第 7 号

- (趣旨) 第1条 この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成 16 年福岡都市圏広域行政事業組合条例第3号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- (対象地域等)
- 第2条 基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。
- (1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業
 - (2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業
 - (3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業
 - (4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
- (運営委員会及び審議会)
- 第3条 基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。
- 2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。
- 3 審議会は、運営委員会で審議した事項に関し審査を行う。
- 4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
- (規定外の事項)
- 第4条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
- 附 則 この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

筑後川にて

発行／令和5年3月 印刷／株式会社 西日本高速印刷